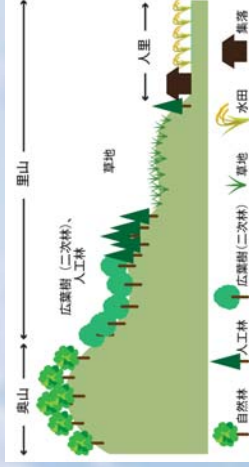


## 計画の趣旨

里山の再生は、市民が豊かな安全な生活環境を作り上げていくことにつながります。そして里山の再生には、市民の皆様に深く里山を知り、里山の資源を使う技術を知り、それぞれの立場から木材資源を積極的に利用していただくことが必要です。  
本計画は、里山をあるべき姿に再生し、元氣な里山を取り戻すための取組の方向性・具体的な取組内容を明らかにしたものです。

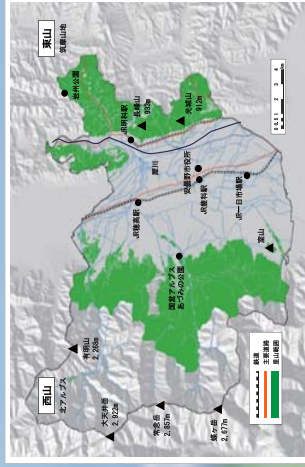
### 里山とは？

里山とは、人里近くに広がる森林や草地を主体として、水田・畑やため池なども含めて、人々が利用してきた山地を指します。



### 計画が対象とする里山の範囲

本計画では、国有林、民有林のうち、特に民有林を対象とします。安曇野市の里山は、犀川により東西に二分され、東山にはコナラなどの広葉樹林、西山にはカラマツを中心とした針葉樹林が広く分布しています。



## 「さとぷろ。」での取組



多広混交林施業地の集衆



プロジェクト会議



さとぷろ。学校関係実習



ハンターと冬の狼場を歩く



地域材を活用した木工体験



市民主体の薪の頒布会



松枯れ材を活用した積み木遊び



拡大する竹林の整備



薪ボイラー見学



薪として活用される松枯れ被害材



マツケ山の復活に向けた取組



木材の流通を学ぶ



更新後の再生する里山を歩く



里山市における木材市場



松枯れ被害を防ぐ関係者入講習会

# 安曇野市 里山再生計画

－第2次計画－〔2020～2024年度〕

概要版

安曇野市では、市内で生活を営む市民・森林所有者・事業者の皆さんに、私たちの暮らしを守り、豊かにしてくれる里山の再生に向けた取組と一緒に進めていただきたいと思います。里山再生計画を策定しました。  
この概要版をご覧いただき、一人でも多くの皆さんに里山再生の取組に参加いただくことを願っています。

令和2年3月  
安曇野市



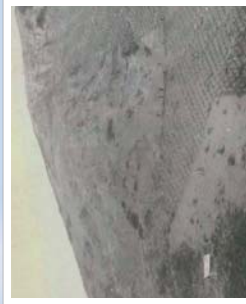
編集・発行：安曇野市 農林部 耕地林務課  
〒399-8281 長野県安曇野市豊科6000番地  
TEL：0263-71-2000 FAX：0263-71-5000



## 里山の現状と課題

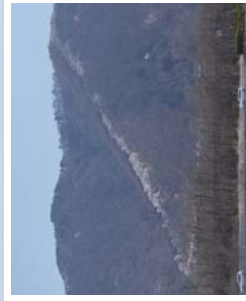
### 里山の今昔

大正時代の光城山



燃料となる薪や肥料となる落ち葉など、生活資源の採取の場となっていました。

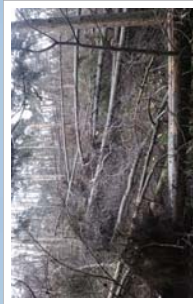
今の光城山（平成30年）



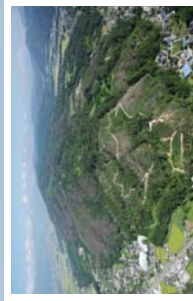
登山道などに杉が植樹され、多くの市民のレクリエーションの場となっています。

### 里山の現状と課題

1960年代から家庭燃料は薪や炭から電気・ガス・石油に切り替わり、外国から安価な木材が輸入され、国産材の需要は減少しました。市内の里山は、間伐などの手入れが行き届かず放置されることも多くなったことで、様々な問題が発生しています。



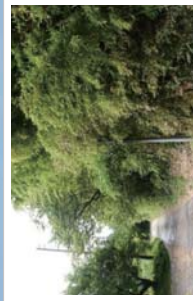
土砂災害防止機能の低下



森林病害虫による森林被害の深刻化



鳥獣被害の増加



拡大する竹林

## 里山の未来像

この計画が描く里山の未来像とは、様々な林齢・樹種からなる

森林や草地がバランスよく配置された明るい里山です。

ここでは、人々が里山資源を活用し、多様な生き物が互いの

バランスをとりあった豊かな自然環境が形成され、

多くの市民にとって訪れやすく親しみの持てる里山となります。

そのような里山は、森林の土砂災害防止機能や水源涵養機能が保たれ、

きれいな水の生成や森林資源の提供、レクリエーションの場として、

私たちの暮らしを災害の少ない安全で豊かなものにしてくれます。

未来の里山への第一歩は、里山資源を利用する機運を高め、

より多くの人々の関心が里山に向かうことです。

- 1 多種多様な環境から成り立つ里山
- 2 多くの人々が里山を資源として利用
- 3 災害の少ない安全な暮らしをもたらす里山



## 計画を推進する取組～第1次計画から第2次計画へ～

### 第1次計画の取組（2015～2019年度）

計画が目指す「里山の未来像」を実現するため、具体的な取組を行う5つのプロジェクトを立ち上げ、進めています。\*が抱まりました。それぞれのプロジェクトの取組に共感した市民や事業者が加わり、行政と協働で「里山再生」に向けた取組を進めてきました。

第1次計画では、各プロジェクトごとにできるところから実行に移すといった里山再生に向けた基礎固めを行いました。

※安曇野市里山再生計画に関する活動の経緯



### 第2次計画の取組（2020～2024年度）

第2次計画では、第1次計画の取組成果と課題を踏まえ、5つのプロジェクトを4つに再構成します。

各プロジェクトがそれぞれの地域にある社会的課題（鳥獣被害、里山荒廃等）と向き合い、より多くの市民、事業者等を主体とした持続可能な取組を進めます。

#### 取組方針（コンセプト）

- 地域の社会的課題※とせとぶる。の取組を接続し、里山再生に携わるメンバーを創出することで、持続可能な体制を構築する。
- より多くの市民、事業者等をネットワーク※化させる。

※鳥獣被害や鳥獣被害など  
※松枯れ被害や鳥獣被害など

#### 安曇野市里山再生計画推進協議会（せとぶる。全体の総合調整機能を持つ）

#### 里山活動者（団体）

**里山まきの環プロジェクト**  
新生産体制の確立が強化され、新スタートへの供給場所、時期が多様化する。

**里山学びの環プロジェクト**

せとぶる。市民の受講生の年齢層をを広げ、里山活動に関心のある幅広い年齢層を対象としたプログラムを企画し、修了後に楽しみながら里山で活動する市民を増やす。

**里山木材活用プロジェクト**

山林所有者、林業事業者、製材加工事業者、建築士およびユーザーの間で情報を共有することにより、需要に応じて安曇野村が適宜供給される体制を構築する。

**里山の魅力発見プロジェクト**

市内の里山の豊富な魅力が明らかになり、里山を楽しむ場、機会として市民の間わりの多様化を図る。

#### 山林所有者等

せとぶる。サポーター（せとぶる。の取組に賛同する仲間）